

令和5年度 事業計画

1. 基本方針

昨年2月に勃発した国際法を無視したロシアのウクライナへの軍事侵略や、台湾の武力による併合を国是とする中国の異常な軍備拡大の動向などにより、多数決による決定を基盤とする地球の平和的安定を希求する国連の機能も崩壊し、発生以来3年も続く新型コロナウイルスの収束も見通せず世界はすこぶる不安定な状況の中にあります。従って経済の動向も国際的アンバランスの中で、円滑な流通が阻害され、その悪影響は急速に拡大しております。我が国の経済も、この荒波をうけ、あらゆる物価の異常な高騰が続いており、国民生活へのマイナス負担も深刻であります。このような情勢の中で、当シルバー人材センターは、経営状況のリアルタイムによる精緻な分析、営業活動の強化、職員の予算必達への努力等により、目標の達成を果たし、令和4年度の決算となりました。

しかし、当年（令和5年）の最大の課題は、10月に予定されているインボイス制度の導入にあります。収支相償を掲げて運営される公益社団法人の当シルバー人材センターは、この制度により発生する消費税の確保は非常に厳しく、シルバー運営上の死活問題となりかねません。当センターは、組織防衛の手段としてシルバー人材センターに対し、インボイス制度の適用除外にするよう、地方自治法第99条の規定により、国（衆参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣）に意見書の提出を求める請願を春日部市議会に要請し、市議会議員全員の賛同を得て国へ送付していただきました。また、県議会にもお願いし、市と同じく県としても国に意見書の提出をしていただきました。現在、上部団体からは、消費税の確保方法として、取引先様に料金の値上げをお願いするとの方針ですが、物価の異常な高騰の中、厳しい経営を強いられている取引先様が、この要請に応じていただくことは非常に困難が予想され、消費税財源確保の確実な対策案がない限り、センターへのインボイス制度適用除外の運動を強力に進めることが、シルバーとして最善の対応策であろうと思料いたします。消費税財源確保のためにシルバー人材センターが存在するなどの愚を実行せざるを得ない政策は、市民社会発展に貢献する高齢者の生きがいを、抹殺する愚策そのものであります。

2. 令和5年度 基本計画

- (1) 運営基盤の強化
- (2) 会員増強
- (3) 就業率の向上
- (4) 安全就業への取り組み
- (5) 研修会・講習会の開催
- (6) 社会貢献の推進と普及啓発活動
- (7) シルバー学校の継続

3. 令和5年度 事業実施計画

(1) 運営基盤の強化

- ① 会員の皆様へのデジタル環境の活用支援を行うとともに、デジタル利用促進事業の推進および強化をすることにより、センターにおける事務処理の効率化・簡素化を通じて事務コストを削減する等、SDGsの取り組みも含め、センターの安定的な運営を図ってまいります。
- ② 本年10月より、インボイス制度「適格請求書等保存方式」が、導入されようとしていますが、今後も、シルバー人材センターの存続を期し、更に対応策を検討してまいります。
- ③ 新型コロナウイルスの感染防止に十分に配慮し、会員の皆様における就業継続に努めてまいります。
- ④ 当センターの適正な事業運営等を期すため、春日部市役所・いきいき埼玉および近隣シルバー人材センター等との情報交換など連携を深め、シルバー人材センターの発展と地域社会の貢献に努めてまいります。
- ⑤ 中期計画の最終年を迎え【令和元年度（2019）～令和5年度（2023）】「過去5年間の総括」を踏まえ、更なる当センターの発展に向け、活動指針としての中期計画を策定してまいります。
- ⑥ 「報告・連絡・相談」を徹底し、職員間の意思疎通と情報等の共有を図ってまいります。

(2) 会員増強

- ① 入会説明会は引き続き毎月開催します。また、好評企画「女性向けの入会説明会」を年4回（うち2回は庄和地区で開催予定）実施します。
- ② 昨年、開催のなかった庄和地区で、年3回「女性向けの入会説明会」を含めた入会説明会を開催し、会員増強を目指します。
- ③ 入会促進のノベルティグッズを見直します。訴求力が高く付加価値のあるノベルティグッズを制作し配布することで、センターの認知度を上げ、会員獲得につなげます。
- ④ 市内各地区の自治会における定例会議等に引き続き参加することで、地域との関係を深め、センターのチラシ回覧やポスター掲示等の協力を依頼します。
- ⑤ 高齢者施設や公民館等に、ポスター掲示やチラシの配架を引き続き依頼するとともに、定期的に訪問し、ポスター・チラシの整理、貼り替えを行い、常に新しい情報を告知します。
- ⑥ 市役所ロビー、およびハローワークでの入会相談会を継続して実施します。

(3) 就業率の向上

- ① これまで除草および襖・障子・網戸班の紹介動画を作成し「見える化」を進めてきましたが、さらに各部会との連携を図り、職種班紹介動画を継続し作成することにより、できるかぎり入会希望者にわかりやすい内容にしてまいります。また、入会説明会における「就業体験」を主導し、より理解を深めていただき

ますよう努めてまいります。

- ② トータルサポート班の事業化初年度とし、稼働できる体制を構築してまいります。
- ③ 会員の就業先を積極的に訪問し、就業状況を把握し、改善することはもちろん、問題点は各部会と連携、共有し解決してまいります。
- ④ 会員の働きかたの要望をできるだけお聞きし、条件が合う場合は、複数の就業を紹介し、就業率の向上を高めます。

(4) 安全就業への取り組み

- ① 事故ゼロを目指してKYT（危険、予知、トレーニング）を強化推進します。過去の事故事例を再分析し、その原因と対策を会員に周知徹底する事により、危険性に対する感受性と集中力を高め、うっかりや不注意による事故を防ぎます。更に、研修会・講習会や現場巡回での意見交換の中で、KYT活動への当事者意識・参加意識を高め、会員の自主性・積極性を引き出すと共に、危険に対する問題解決能力を向上させ、「ゼロ災職場風土」を醸成してまいります。
- ② 肩掛け機械による草刈り作業において、飛び石事故を防ぐ為に、カルマーの使用を推進します。さらに作業前には、作業場所の危険エリアを会員自らに決めて頂き、そこでのカルマー使用を徹底します。また、お客様と会員双方に「浅刈り」の利点をご理解頂くことにより、「コード式での深刈り」から「安全を優先した浅刈り」へと意識の変革を促すことにより、カルマーの使用を推進します。
- ③ 「安心・安全の日」の理事巡回を継続し、各部会の様々な視点から作業現場を調査・分析して頂き、その結果を安全就業に活用して参ります。
- ④ 近年の車両・自転車事故の増加を受け、センター車両については、「センター車両運用管理規程」とアルコール検知器の運用を徹底し、自転車については警察の取り締まり強化に対応した安全講習会を開催し、安全運転指導を推進します。

(5) 研修会・講習会の開催

- ① シルバーの仕事を新たな生きがいとしていただけるような研修会を開催します。まず、フレイル予防による健康管理の大切さを知っていただきます。そして、就業への心構えとして、職場でのマナーや求められる接遇を、過去の実例などから学ぶ実践的な内容とします。
- ② 就業している会員を対象に、昨年実施し、好評だったフレイルレベル判定講習を毎月開催します。フレイル予防に取り組むことで健康寿命を延ばし、より長く安全に就業していただけるよう努めてまいります。

(6) 社会貢献の推進と普及啓発活動

- ① 清掃ボランティアは、センターの地域社会への浸透、イメージの定着を図るため、製作したスタッフベストを着用し、春日部市の環境美化に貢献します。
- ② 音楽ボランティアは、高齢者施設等での交流を深め、当センターのPR活動に努

めてまいります。

- ③ 全戸配布の「かすかべシルバー」は、春日部市民の皆様にセンターの受注拡大、会員拡大につながるよう、年2回発行します。
また、「ゆうゆうだより」は、会員相互の理解を深め、情報や講習会の案内等を掲載し年4回発行します。
- ④ ホームページは、センターの最新情報を速やかに提供できるよう、定期的に更新してまいります。
- ⑤ 地域のイベント（藤まつり・商工まつり・ふれあい広場等）で、チラシ配布をするなどセンターの取り組み等を周知する効果的な手段、方法を講じて有効な普及啓発を図ってまいります。

（7）シルバー学校の継続

- ① 春日部市シルバー人材センターの周知を図るために、市内在住の60歳以上の方を対象に「シルバー学校」への参加呼びかけを継続してまいります。
「植木学校」「襖・障子・網戸張り」の各学校を開催し、技能や技術を習得した方が、当センターに入会し就業できる体制を整え、就業率の向上も図ります。